

根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2012/2/14 実施)

2012/3/8 文責/編集:相澤

参加者:相澤、市川、西澤、三井、山田(洋)、山口(千葉大)、浅利(千葉大)

◇観察した野鳥 観察順、種名の後の数字は個体数

●湿地部:セグロセキレイ 2、コサギ 1、カシラダカ 2、ムクドリ 2、ツグミ 3、モズ 2、ヒヨドリ 1、メジロ 2、ハシボソガラス 2、カルガモ 12、カワセミ 1、ウグイス 1、カワウ(上空を旋回) 3、アオジ(声のみ)

●台地上(城址部):ドバト 3、キジバト 4、メジロ 1、シジュウカラ(声のみ)

●この日はとても寒い中でしたが、野鳥には関係なし?湿地で14種、台地で4種、合計17種と今シーズンで最も多くの種が見られました。中でも注目すべきはカシラダカ。根木内でこれまで見たという記録はないのではないのでしょうか?じっくり時間をかけて観察しました。

◇感想・お気に入り

今日は、朝からの細かい雨が何とか上がりはしたけど、曇り空の底冷えのする日。寒さに耐えながらの観察会でしたが、御褒美がありました。カシラダカが二羽、随分長い時間、私達に姿を見せてくれました。後ろにツンツンと立っている冠羽がしっかり見えたが、なんだか可愛い姿でした。

さらに、カワセミもご来場。あの鮮やかなブルーには、何回見ても目を奪われます。また、今年は今まであまり見られなかったツグミが、やっと数を増してきたようで、あちこちと姿を見せてくれました。モズもいましたし、いつもいるご常連も姿を見せこんな天候も、鳥を見るには結構いい日なんではないでしょうか?

(市川)

カシラダカ1号



カシラダカ2号



カワセミ

(カシラダカは)初めて見る鳥で、頭の上が高く、名前のおりだと思いました。カワセミはやはり飛び立つ時の羽の色は美しい。(山田)

とても寒い観察会でした。オランダミミナグサの毛のあるふっくら葉っぱが暖かそうと感
じるくらい。冷たい地面にもかかわらず、ロ
ゼット葉は健在です。

ハルジョオンは、一本だけ咲いていました。
この寒さにチョットハマッタカと
思っているかもしれません。オオイヌノフグリは花を
つけていますが、今日は、ほとんど閉じてい
ます。それで葉の様子をじっくり見ることに
しました。花に目をとられると、葉の様子は
見落としてしまいがちです。意外に感じたの
はウラジロチチコグサ。小ぶりのサラダ菜の
ような感じでとてもやわらかそうでした。
曇りにもかかわらず、鳥さんたちはたくさん
やってきました。中でも今日の一番はカシラ
ダカのカップルです。ほほえましい感じでエ
ゴノキからケヤキへと飛び交い、ずいぶん長
くとどまってくれました。おかげでしっか
りと観察できました。こちらから見るとずい
ぶん大きく見えたのに、下から見上げたら、
その姿はスマートでした。鳥の大きさは見る
角度によって見え方がずいぶん違うと思
います。今年は来るのが遅かったツグミも
あちこちの地面やこずえでにぎやかに鳴
いていました。(西澤)

一本だけ咲いていたハルジョオン



オニノゲシのロゼット、トゲトゲしている。



春を告げる草たち



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ

落ち葉に埋もれるようにカキドオシが生えていました。ちょっと掘り起こしてみると、横に伸びた茎からお皿のような葉っぱが伸びているのが見えます。お皿の縁は「ひだ」がいっぱい。この「ひだ」、よく見るとただの放物線の形ではなく、葉脈との交点の部分が中央に向かって少しへこんでいます。このへこんだ部分は…排水口??へこんでいる意味ってなんだろう。むしろこの中途半端なひだの切れ込みの深さにはどんな意味があるんだろう。きっと意味があるからこういう形をしているのだろうけど、その場では答えが良くわかりませんでした。(山口)

カキドオシ



冬芽のいろいろ

コナラ、ケヤキ、ミズキ、イヌシデ、ニワトコ、ヤナギ、シロダモ、ソメイヨシノ…
(三井)

この木何の木?

湿地の片隅で、桜のような樹皮の木を見つけ、みんなで何の木か?という話になりました。冬芽図鑑や昔行われた調査の記録などを調べ、辿り着いた答えはなんと「〇〇〇」。こんな基本的な種がわからないなんて～!でも、変な樹皮でした。正解は次ページで。
(相澤)

イヌシデの冬芽



樹皮は桜のよう…



冬芽は交互に並んでいます。



合計で 12 羽もいたカルガモ



野鳥が多く見られました。普段気にしないで見ると見えない・聞こえない彼らの姿や声が、観察会で意識しているときは見える・聞こえる！普段はこんなに面白い情報をシャットアウトしているのだな、と思うともったいない気がしました。カマキリの卵の種類が分からず、西澤さんにいっぱい教えていただきました。カマキリの卵図鑑が欲しいです。(山口)

鳥の声が寒い空気の中 チィチィチィ、ギー、チー、小さな声でツイツイツイ。聞こえてきました。(山田)

前ページ、この木何の木？の答え

湿地沿いで見つけた桜のような樹皮の木の答えは「ケヤキ」でした。冬場はやはり木の同定は難しい・・・でも、みんなであれこれ言って面白かったです(右写真参照)。わからない状況であればある程、知りたくなりますよね。



根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています(雨天時は次の日に延期)。3月は13日(火)の予定です。今回あまり見られなかったロゼットは、多くの顔を出してくれるのでしょうか？

9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail : akihitoaizawa@gmail.com